



真宗高田派本山 専修寺  
高田 本山だより

令和7年 夏号

142



高田本山 HP

令和7年 夏号 (第142号) / 発行・令和7年6月1日 / 〒514-0114 三重県津市一身田町2819番地 TEL 059-232-4171 www.senjuji.or.jp



はなまつり (4月20日)



釈迦三尊佛法会 (4月8日)



涅槃会 (3月15日)

高田本山の魅力のひとつに、  
壮麗な建築物「山門」があります。

山門は単なる入口ではなく、  
仏教の教えを伝える役割があり  
ます。

二階には「釈迦三尊像」が安  
置されています。中央にはお釈  
迦様、その左右には普賢菩薩と  
文殊菩薩が鎮座しており、特に、  
お釈迦様の誕生日である四月八  
日には行列が組まれ、その尊前  
でのお勤めが恒例となっていま  
す。

また山門から御影堂に通じる  
石畳の道は、阿弥陀仏の四十八  
の願いの十八番目の願い「本願」  
が象徴され、この道程は極楽浄  
土へ至る精神的な旅路「二河白  
道」のたとえにも似ているとい  
われています。

山門から始まる高田本山の境  
内は、古来より自らの信仰と向  
き合い、日々の生活における新  
たな気づきを与えてきたこと  
でしょう。

こころつむ  
「心紡ぎ縁繋ぎ」  
えんつな



2011年3月11日のあの日。未曾有の大災害のその後、テレビに映し出された被災者の方々の様子に引き付けられた私がおりました。

誰もが苦しく辛い中、お互いに声を掛け合い、手を差し伸べあうその姿に「結」の精神と慈悲の姿を見たのです。「知っている、知らない」に関係なく、助け合う。ありがとうと手を合わせ合うその姿。

幼い頃に体験した「静岡県七ヶ浜町」、自宅の裏山で土砂崩れが起き、避難したその後田舎の小さな村の中、互いに声を掛け合っていたその記憶と重なり、これからの人と人が繋がる場所にお寺の場所がなれないだろうかという思いが膨らみ、住職や周りの方々に相談し模索した結果、年に一度、縁日を開催するに至りました。その日から今年で13年。縁日に訪れて下さった皆さんが笑顔で過ごせる一日を作れる「みちくさ縁日」と、名付け、今日にいたります。

遠くへ出かけられないご年配の方や親子三代、御寺での縁日を通じて交流の輪が広がり、温かな笑顔がはじける場となりました。

その縁日が発端となり、いろんな方面からお声がけをいただき、御寺での音楽会や地元図書館とのコラボで「寺子屋体験ライブラリー」など、様々な会も開催するようになりました。

お寺はその昔、「寺子屋」という名称で庶民に読み書きや算術をおしえる場であったり災害があれば、お助け小屋の場になり、様々な形で人々にいつもより添う場所でもあったのです。震災が教えてくれた人と人との繋がりの温かさ。ありがとうございます言葉



笑顔あふれる、みちくさ縁日

の温かさ。

あの日から、縁日でも音楽会でも、知らない間柄であった皆がいつも笑顔で会話が弾んでいます。新しいご縁もあちらこちらで紡がれ、本堂へ進まれた方々は、熱心にご本尊さまに手を合わせてくださいます。

その姿が、まさに、阿弥陀様が紡いでくださった「法縁」であると感ずるので

す。これからも「心紡ぎ縁繋ぎ」をこつこつと、皆様とともに過ごしてまいりたいと願っております。

愛知二組 善福寺衆徒 麻績 晶清 合掌

御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）  
電話 (075) 371-0854・8181~2番  
FAX (075) 344-2701番  
振替口座・0170-3-972番 郵便番号600-8344

創業1586年



松井建設株式会社

取締役社長 松井隆弘  
執行役員支店長 小沢一彰

本社 東京都中央区新川一丁目17番22号 ☎03-3553-1150  
名古屋支店 名古屋市中区栄五丁目28番12号 ☎052-249-4771

浄土真宗なんでもQ&A

浄土真宗の教え

# 亡くなった孫に何かしてあげたいけど・・・

まだ若いお孫さんを亡くされた八十代  
くらいの男性から「孫に何かしてあげた  
いけどどうしたらいいですか？」とご質  
問されたことがあります。

「目の中に入れても痛くないほどかわ  
いいとされるお孫さんを亡くされたこと  
は、ご自分が死ぬよりも辛いこととお悲  
しみをお察し申しあげます。お孫さんの  
ために何かしてあげたいと思われるのは  
自然なお心持ちと存じます」と私は感じ  
ました。  
亡くなられたお孫さんも、後に残され  
た自分自身もすぐわれるのが佛さまのみ  
教えです。

お念仏のみ教えでは、この世でのいの  
ちが尽きた方々は即、阿弥陀さまのおは  
たらきでお浄土に生まれさせていただ  
き、佛にならせていただくとお教えられ  
ています。

一方で、残された者は、「先立つた者の  
ために何かしてあげたい」「できれば代  
わってやりたい」と故人への思いばかり  
が生じてくるでしょうが、そんな自分  
身にも目を転じていただきたいのです。

死別などで愛する者と別れる苦しみの  
ことを「愛別離苦」と言います。これは、

この世に生まれた者があう苦しみのひ  
とつとして、お釋迦さまが挙げられたも  
のです。

平安時代の女性歌人に和泉式部がいま  
す。彼女には一人娘がいましたが、若く  
して病がもとで急に亡くなりました。ひ  
とりの母親として、突然のわが子との死  
別という苦しみの解決に、それまでの豊  
かな教養は何ひとつ役に立ちませんでした。  
後に佛さまのみ教えに出遇った彼女  
は、

夢の世に

あだにはかなき身を知れと  
教えて帰る子は知識なり

という歌を遺しています。わが子こそ、  
そのいのちをかけて私に無常のことわり  
を教えに来てくださり、佛さまのみ教え  
へと導いてくださる人（知識）でした、  
という意味です。

亡くなられた人は、阿弥陀さまのお

はたらきでお浄土に生まれて佛になる  
（往相）とともに、私たちを阿弥陀さま  
へと導いてすくうおはたらきになられま  
す（還相）。亡くなった大切な人に何か「し  
てあげたい」と思っている私たちに、亡  
くなられた人が佛となつて私たちを阿弥  
陀さまへと導くことを「してくださつて  
いる」のです。

質問をされた男性も、お孫さんを亡く  
されたことがきっかけで、お寺に来てお  
説教を聞くようになられたそうです。そ  
れは、佛となられたお孫さんのおはたら  
きによるものであり、阿弥陀さまのおは  
たらきによるものでしょう。

「愛別離苦」はとても残酷な苦しみに  
です。もし、亡くなられたお孫さんに「し  
てあげる」ことがあるならそれは、お孫  
さんとの別れを機に出遇われた佛縁を大  
切にして、お念仏のみ教えのお聴聞を重  
ねていただくことではないでしょうか。

（教学院第三部会）



伝統を引き継ぐ左官職人會

## 唐築舎

Sochikusya Co.,Ltd

伝統的な社寺建築、古民家や一般住宅・店舗の修繕、リフォーム、  
リノベーションなど、自然素材を活かした壁や空間を提案します。

建築工事 / 左官工事 / 外構工事 / 現場施工管理

〒510-0031 三重県四日市市浜一色町 16-35  
TEL 059-332-1444 FAX 059-344-2627  
E-mail : sochikusya@gmail.com URL : https://tutikabe.net/

法衣・仏具製造及び販売



井筒法衣店

代表取締役社長 今岡規代  
●本社  
03-8468  
京都市下京区堀川通  
新花屋町角(西本願寺前)  
Tel 075-51-1234  
0120-075-720  
Fax 075-341-7905  
●東京店  
100-0008  
東京都新宿区四谷  
二条町十四番地三  
Tel 03-3358-1500  
Fax 03-3359-8902

オンラインショップはこちらから →



「燈炬殿だより」

令和七年度仏教文化講座特別展観  
阿弥陀さまの世界へようこそ

第二十二世堯献上人が始められた仏教文化講座は今年の夏で九十九回目を迎えます。宝物館「燈炬殿」では、仏教文化講座に合わせて令和五年には、特別展観「見真大師と聖徳太子」、そして昨令和六年には、「学山高田の文化」を開催してきました。

今年の夏の特別展観は、真宗の教えの真ん中にある阿弥陀如来の世界をテーマに開催いたします。

阿弥陀如来は、法蔵菩薩の頃、十方の衆生の救済を本願に修行され、やがて成就され阿弥陀如来となれたと伝えられています。ご開山親鸞聖人はお念仏を申すことが浄土に生まれるたねになると勧めてくださっています。

阿弥陀如来の本願の根拠となる浄土三部経につきましては、菅原道真公が写されたとされる浄土三部経菅丞相御筆をご覧いただく予定です。また、三部経の世界観をおごそかに表現した三部経曼陀羅（轉輪寺蔵）や来迎図（深正寺蔵）なども展示いたします。

親鸞聖人は阿弥陀如来の本願を天竺から

中国を経て日本に伝えられた七高僧を尊敬されましたが、とりわけ師と仰がれた法然聖人からは多くを学ばれ、その教えをさらに深められ真宗の根本聖典となる教行証文類（顕浄土真実教行証文類）を著されました。今回の展観では、これらのことを跡づける経典、書物、そしてとりわけ阿弥陀如来の衆生救済の本願に叶う名号については、親鸞聖人が書かれた紺地十字名号をご覧いただきます。

親鸞聖人は、お究めになられた真宗の教義を庶民にも分かり易い言葉で伝えるため、平安末期に流行した今様と呼ばれた歌曲の五七調の音律に従って阿弥陀如来や高僧の徳、そしてなりより阿弥陀如来の本願のみが救いであることなどを和讃として詠われました。今回の展示では、それらをまとめた三帖和讃を複製にて出陳いたします。

また、高田歴代の上人は、学山高田にふさわしく、その後も真宗の教えを考究され、顕正流義鈔を始め多くの典籍を著され、その成果を広く社会に伝えてこられました。その足跡を偲ぶことの出来る



浄土三部経菅丞相御筆。写真に示されているのは仏説阿弥陀經の冒頭部分

**ええじゃないか**  
新しい旅の発見

毎週月曜日 よる7時  
(毎週土曜日 ひる12時再放送)

TVer で見逃し配信!

MON TUE WED THU FRI

ニュース情報番組

**Mie ライブ**

月～金 夕方 5:40

三重テレビアプリで  
随時メッセージ!

三重テレビ放送

# 石

## 一筋

高田本山御用達  
三重県仏教会御推薦

石碑  
記念碑  
燈籠

高級御影石専門店

**御影石材株**

(石に御用の方は) イシニコヨオ

☎0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前)  
☎059-224-1700(代)



紺地十字名号  
親鸞聖人御筆

法宝物も多く展示いたします。

阿弥陀如来の世界、七高僧のお導きで阿弥陀如来の本願こそが、仏教の神髄であることを見抜かれた親鸞聖人、その教えを広められた歴代の上人達。今回の特別展は、阿弥陀如来の世界の本質を究め

てきた真宗高田派の歴史を概観できる機会でもあります。是非とも多くの皆様にご覧いただきますようお願いいたします。

宝物館「燈炬殿」  
館長 大野照文

## 真宗高田派人間解放の集い公開講座

3月3日、高田会館ホールにて「真宗高田派人間解放の集い公開講座」が開催されました。

講座の講師は、真宗大谷派の慶法寺前住職である藤井慈等師で、長年にわたり人権問題や差別の解消に取り組まれ、その深い知識と経験に基づく講義は、多くの参加者に新たな気づきと視点を与えました。



### ■高田本山講員募集■

高田本山では、本山行事等にお世話いただく講社の講員さんを募集しております。講社とは檀信徒で構成する本山奉仕団体です。真宗のみ教えを学びながら、第2の人生を本山にご奉仕してみませんか。

#### 募集要項・奉仕内容

講社名	奉仕内容
御飯講	毎朝の御仏飯のお世話・お非時のお世話・宿坊のお世話・両堂警備
御廟講	納骨に関するお世話・行列のお世話
賽銭講	両堂のお賽銭の管理・両堂警備
用度講	行列のお世話・お非時のお世話・宿坊のお世話・両堂警備

※高田本山内で当番制のご奉仕となります。  
※9:00～15:00（講によって奉仕時間が異なります）  
※高田派の寺院に所属する檀信徒に限ります。詳細は下記へ問い合わせ下さい

問い合わせ先 〒514-0114 津市一身田町 2819  
真宗高田派本山宗務院 ☎(059) 232-4171



西方指南抄 真智上人御写本

人口減少社会へ突入した地域に必要なのは「お寺」だと思う。

方言から生まれる情報発信や  
プロジェクトをサポートします！

三重に暮らす・旅するWEBマガジン

**OTONAMIE**

otonamie | 14,500フォロワー突破！

mail otonamie@gmail.com | tel 059-268-3538 (壽印刷工業株式会社)



お寺の実績  
紹介記事

お寺とともに  
地域をつくる。

### 永田文昌堂

最新刊

①東西本願寺 120のちがい

鎌田 宗雲著 定価3,300円(税込)

主に前半は、東西本願寺の組織・寺紋・荘厳・勤式・作法など120項目のちがいを紹介する。後半は、歴史的な視点も踏まえて東西本願寺のちがいに着目し、主にお東騒動に関して時系列で振り返りながら解説する。

最新刊

②値遇のころ

川添 泰信著 定価1,100円(税込)

本願寺の新報、または小冊子や、大学における掲示伝道の標語の解説などをまとめた法話集。主な内容として、お辞儀と礼拝 / 握手と合掌 / 「僭越」と「ジョーク」 / 蜘蛛の糸 / 安穩の未来 / 浄土真宗のお彼岸 / この世にて / など。

京都市下京区花屋町通西洞院西入 ■TEL 075-371-6651 ■FAX 075-351-9031

## こんな行事がありました

# 第76回檀信徒研修会

テーマ「重誓偈から学ぶ」

3月13日に檀信徒研修会が開催されました。高田派の檀信徒とは、おもに真宗高田派の教義を大切にし、特定の寺院に所属し護持

する人々と考えられています。檀信徒を対象としたこの研修会は、信仰について学び交流を深める場として、また日常生活の中で仏教の教えを実践し、寺院の活動や行事に積極的に参加していただくことを目的として開催されて



います。

檀信徒研修会は御影堂での法主殿のお言葉から始まります。法主殿はまず参加者の日々のご苦勞を勞われ、昨今の世相を通して真宗の信仰を持つことの意義を語られました。

続いて、宗務総長が念仏と共に歩むことの大切さについて話されました。日常生活の中でどのように念仏を取り入れ、心の平安を得るかを多くの方々呼びかけられました。

今回も研修は、高田会館ホールで行われました。講師は津市報恩寺住職、芳川賢史師で、「重誓偈から学ぶ浄土真宗」の講題でお話くださいました。『重誓偈』は『仏説無量寿經』上巻にある偈文であること、法蔵菩薩（阿弥陀如来）が「誓」という言葉を三回重ねられているから『重誓偈』と呼ばれること、聖人が重要な事柄を挙げら

れる際に『重誓偈』の言葉を仰がれたことなどを丁寧にお話くださいました。

普段何気なく勤めている勤行にも、とても深い意味を持つことを学びました。

『重誓偈』の講義の後、参加者はグループに分かれて分散会を行いました。ここでは、研修会で学んだことや感じたことを共有し、ひろく互いの意見が交換されました。

参加者からは「短いお経なので入門のお経だと思っていました、こんなに深い意味があるとは知りませんでした」「まさにお経のエキスと感じました」「幼いころ祖父母に教わったことを思い出しました」などの声があり、檀信徒同士の絆を深め、今後の活動に向けた新たな視点や信仰の理解を深める貴重な時間となりました。

### ■次回第77回檀信徒研修会のご案内

10月16日木曜日に開催、講義は『重誓偈』の続きを、よりやさしくお話しいただく予定です。

新たな知識を学び、視野を広げるとともに、参加者同士の悩みや課題を共有し新たな気づきを得る、絶好の機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。（お手次のお寺を通じてお申込みください）

## 得度と住職拜命式

3月28日と29日には、得度と住職拜命の儀式が行われました。(3月28日得度研修日)

得度とは、出家して僧侶となることを指します。得度の「度」とは「涅槃にわたる」という意味で、お念仏に従って生活することを誓い、その第一歩として重要な意味を持っています。



持っています。

今回は9歳から70代まで、遠くは岩手や福島から男性13名、女性14名の方々が臨まれま

した。参加者たちは賜春館にて法主殿から度牒をいただき、緊張した面持ちで御影堂でのお勤めに参加しました。

## 平等院殿3年忌法会

3月26日から27日まで、お裏方様である平等院殿の3年忌法会が厳かに執り行われました。

生前のお姿を思い起こさせるような穏やかで優しい天気の中、たくさんの参拝者が訪れ、それぞれの思い出とともに、その慈愛に満ちたお人柄をあらためて偲ばれました。



## 千部法会・十万人講法会・戦没者追弔法会

4月6日から11日まで千部法会、9日から10日まで十万人講法会、4月11日に戦没者追弔法会が勤まりました。

千部という名称は、今でいう永代経法会にあたります。

この法会の主役は亡くなった先祖で、あとに残った私たちに「仏法を聞きなさい」「お念仏を申しなさい」と呼びかけて下さったといただく法会です。私たちにとって自分自身の人生を見つめ直し、仏の教えを再確認し、日々の生活に活かす機会でもあります。

本山の境内には、俳人芭蕉の弟子である珍碩が詠んだ句碑が立っています。

### 「千部読む花の盛りの一身田」

この句は、千部法会が行われる時期の風景を詠んだもので、美しい花が咲き誇る一身田の情景と共に、千部法会の荘厳さがあらわされています。

また今年には先の大戦の終わりからちょうど80年の節目の年に当たります。

戦争は多くの生命を奪い、家族を引き裂き、社会を混乱させる悲惨な出来事です。

親鸞聖人は「世の中安穏なれ 仏法ひろまれ」とおっしゃいました。

この言葉は、お念仏とともに私たちの心に力強く響いてきます。



## 護持会・奉賛会から大提灯奉納



の被写体としても親しまれてきました。しかし風雨による損傷が激しく、修繕が続いてきたため、この度、護持会様および奉賛会様のご厚意により、新しい大提灯が献納されました。

長年にわたり、お七夜の山門を飾ってきた大提灯は、報恩講の雰囲気を一層引き立てる重要な存在でした。その大きさと美しさは、訪れる人々の心に深い印象を与え、また灯りとしての役割を果たすだけでなく、写真

この提灯は、これからも多くの人々の心に残る存在であるとともに、文化と伝統を未来へとつなぎ続けることでしょうか。このような素晴らしいご厚意に心より感謝申し上げます。

## 蓮の植替え講座

3月27日に蓮の植替え講座が行われました。

この日は、普段は立ち入ることができない国宝である御影堂中陣の特別拝観や、重要文化財の対面所では呈茶が行われ、仏教と日本文化を再認識する機会が提供されました。その後職員による蓮の適切な植替えの実演があり、文化と自然の両方を楽しむことができると好評を博しました。



## 県内最大級の大涅槃図・

### 釈迦三尊佛法会・はなまつり

三月十五日の涅槃会にともない、涅槃会と如来堂前の仏足石のお参り、東海最大級の大涅槃図の公開と絵解き、4月8日には釈迦三尊佛法会が厳修され山門の二階に安置された釈迦三尊佛を礼拝しました。

また4月20日にはお釈迦様の誕生を祝う伝統的な行事、はなまつりが行われました。4月8日にお生まれになったお釈迦

様は「天上天下唯我独尊」と宣言され、すべての命の大切さを説かれました。このことを記念して、はなまつりが行われています。

如来堂前に集まった参加者は、大きな白いゾウさんと共に境内を歩きます。これは、お釈迦様が生まれる前にお母さまの摩耶夫人が見られた白いゾウの夢にちなんでいます。

## 御対面所で奉納揮毫

4月5日(土)に本山の御対面所にて、津市に在住する書家の山脇結翠様と高田高校書道部の皆様による「和プロジェクト TASHI」奉納揮毫が行われました。

世界中の多くの方々と仏縁を結ぶために、高田本山ではYouTube「専修寺チャンネル」をはじめ様々なデジタル技術を活用しています。国宝彫刻群などを動画などで紹介する「高田本山デジタルブック」もごございますので、どうぞアクセスください。



<http://www.senjuji.or.jp/nihonnaku/digitalbook/index.html?pNo=1>

## 法会・行事案内

- 歓喜会 八月十四日～十六日
- 讚佛会 九月二十日～二十六日
- 第三十一回法話発表会 九月四日
- 第五十一回住職補任研修会 十月八日～九日
- 第三十回教学院研究発表大会 十月三十一日
- 第七十七回檀信徒研修会 十月十六日

寺院名